

## 教育学部公開講座

### 「障害のある子どもの豊かな暮らしを実現する

### 特別支援教育の在り方」

平成 19 年 12 月 1 日 (土)  
10:00~12:00、岐阜大学教育学部において自主公開講座「障害のある子どもの豊かな暮らしを実現する特別支援教育の在り方」が開催されました。今回は、第 2 回日本行動分析学会・学会賞（実践賞）を受賞されている西南学院大学教授の野口幸弘先生をお招きし、定員 100 名を大幅に上回る 142 名の参加者を得ました。



野口先生からは、応用行動分析に基づく長年の地域生活支援の実践から、行動障害の方の事例を基に、徹底した利用者中心の理念と、その理念を実現する方法論をお示しいただきました。地域での生活を支援するには、24時間、365日とぎれることなく支援を組み立てる必要があります。データに基づいて支援を組み立て、職員と成果を共有し、さらには行政関係者も巻き込みながら、支援システムを構築してこられた経緯から、科学に裏打ちされたヒューマンサービスの最前線を学ぶことができました。